

令和2年度 事業計画

1 はじめに

1989年に昭和天皇が崩御され幕を開け、およそ30年間続いた「平成」の時代も終わり、昨年5月、「令和」の時代が到来しました。「万葉集」の梅花の歌からの出典で、

「時、初春の令月にして、氣淑く風和ぎ、

梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。」

が由来とされ、「何を始めるにも良い、おめでたい、和やかな時」という意味が込められているそうです。安倍首相は会見にて、新元号には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味も込めたと説明されたそうです。

また、9月に開催されたラグビー・ワールドカップ（W杯）日本大会では、日本代表が予選リーグ4戦全勝で初の8強入りを果たす快挙を成し遂げ、準々決勝で南アフリカ代表に敗れたものの、そのスローガンだった「ワンチーム」が、「2019ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞に選ばれるなど、大きな盛り上がりを見せました。その一方で、首都圏を直撃した台風15号にはじまり、19号、21号と東日本は大きな被害を受け、10月には消費税が8%から10%に増税されました。さらに、令和2年を迎えると「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大など、日本経済や社会生活活動等への多大な影響が懸念されます。

そのような中、平成30年度末で会員の平均年齢が74.2歳となり、当センターでも会員の高齢化と世代交代の時期を迎えております。庭の草取り、生活サポート関連作業や四街道市介護予防・日常生活支援総合事業にかかる作業など、発注者ニーズの高い職種における会員不足が続いており、これらに就業できる会員の確保が重要な課題となっています。さらには、傷害事故や賠償事故も発生を抑えきれておりません。「やるべきことはやる、やってはいけないことはやらない。」を徹底し、体調管理とともに事故防止に努めなければなりません。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を念頭に置き、コンプライアンス（法令遵守）と「地域貢献」を胸に、地域社会において、信頼感と存在感のある組織であるよう取り組まなければなりません。

2 本年度の事業目標

本年度の事業目標は、以下のとおりとします。

(1) 会員数	625人
(2) 受託契約高	2億6,226万円
(3) 就業延べ人員	63,450人日
(4) 受注件数	4,230件
(5) 重篤事故	ゼロ

3 基本計画

本年度の事業目標を達成するために、次の基本計画を実施します。

(1) 会員増強

センター発展の基本となる会員の増強対策として、次の具体的な取り組みを進め、働く意欲と豊富な知識・経験を持つ高齢者の入会を積極的に推進します。

- 1) 会員増強促進委員会を継続し、会員増強策を講じる
- 2) チラシ、リーフレット等による市民及び企業等への啓発に努める
- 3) 地域班や職群班を中心とした、会員による口コミ活動等の実施に努める
- 4) 入会説明会の説明内容等の見直しを図る
- 5) 適正かつ迅速な入会承認及び就業機会の早期提供を図る
- 6) 就業相談等を行い、退会会員の抑制に努める
- 7) その他、会員の増強に関すること

(2) 新たな就業の場の開拓

会員の増強・拡大を図る上でも重要な課題となる新たな就業の開拓に努めます。

- 1) 四街道市介護予防・日常生活支援事業の充実を図る
- 2) チケットサービスの充実を図る
- 3) 一般労働者派遣事業の強化に努める
- 4) 分かち合い就業の推進に努める
- 5) 新入会員への積極的な就業支援に努める
- 6) サービスと技術の向上と技術・技能の伝承を図る
- 7) 地域に密着していることを強く意識した就業機会の創出に努める
- 8) その他、就業機会の創出に関すること

(3) 地域活動とボランティア活動の強化

- 1) 「四街道市高齢者見守り活動に関する協定」による高齢者見守り活動を実施する
- 2) 「四街道市空家等の適正な管理の推進に関する協定」による、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に寄与する
- 3) 会員の能力や知識を活用した、ボランティア活動や文化活動等の計画づくりと実施機会の創出を図る
- 4) 市民を対象とした講習会や研修会の企画実施に努める
- 5) その他、地域の貢献に関すること

(4) 組織体制の強化

- 1) 会員研修会等の開催を図る
- 2) 専門委員会等の活性化を図る
- 3) シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに沿った事業運営に努める
- 4) 会員親睦会との連携を強化し、会員の相互扶助と福利厚生に務める
- 5) その他、組織体制の強化に関すること

(5) 安全・適正就業の推進

- 1) 会員の高年齢化の中、一層の安全就業をめざし、事故防止に努める
- 2) 安全・適正就業の内容や形態を点検し、適正就業への改善に努める
- 3) 市民等利用者からの信頼や仕事のリピートを高めるために、会員への各種講習会・会議等の機会を捉え理念の浸透、接遇意識等の向上に努める
- 4) その他、安全・適正就業の推進に関すること

(6) 各種業界団体やハローワーク等関係機関との連携

- 1) 市内各種業界団体との連携を通じ、シルバー人材センター事業の活用について働きかけを進める
- 2) ハローワーク等関係機関との連携を通じ、会員増強の機会に努める

(7) シルバーフェスタ（仮称）の開催を検討

多様な社会参加活動を援助して、生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、シルバー人材センター事業の普及と魅力あるセンターの啓発並びに会員増強のため、地域班、職群班、会員親睦会と連携して、会員のみならず市民も対象としたシルバーフェスタ（仮称）の開催を検討する。